

平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における阪南中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 28 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年の原則として全生徒
- ・阪南中学校では、2年生 228名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）

- イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）
を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立 阪南中学校

生徒数

228

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.91	31.88	39.76	56.92		90.81	8.11	192.46	20.99	44.56
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	22.96	26.29	44.93	50.38		63.50	8.93	166.92	14.67	52.12
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

- 体力合計点において、男女とも大阪市平均・全国平均を上回った。
- 上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、ハンドボール投げにおいて、男女ともに大阪市平均・全国平均を上回った。特に、反復横とび、上体起こしにおいては、大きく上回っている。
- 長座体前屈、50m走、立ち幅とびにおいて、男女ともに全国平均を下回った。
- 握力においては、女子が大阪市平均・全国平均を下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

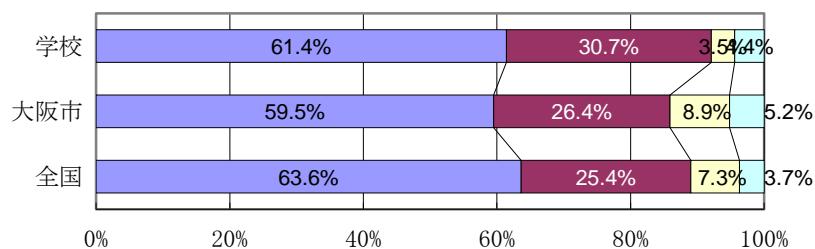
- 体育大会やマラソン大会、球技大会などの行事を通しては一定の成果がみられ、生徒たち自身も楽しさや達成感は十分に感じられている。
- 日々の生活のなかでの運動やスポーツの位置づけや、授業内での達成感や成果が不十分であることが課題である。解決策として、アクティブラーニングを積極的に取り入れた授業展開が必要と考える。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

1

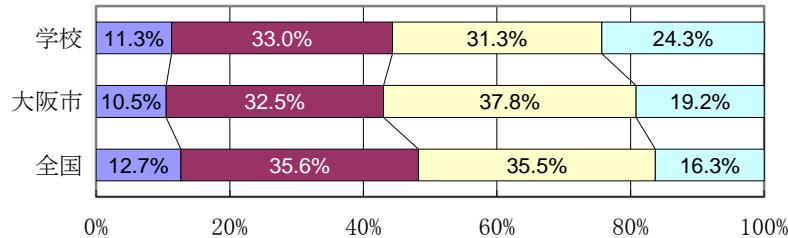
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



- 好き
- やや好き
- △やややきらい
- きらい

2

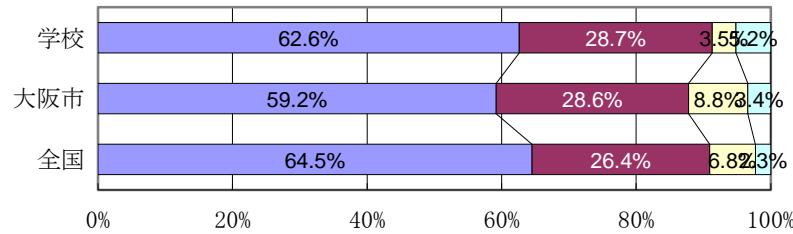
自分の体力に自信がありますか



- 自信がある
- やや自信がある
- △あまり自信がない
- 自信がない

3

あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



- 大切
- やや大切
- △あまり大切ではない
- 大切ではない

4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



- 思う
- 思わない
- 分からない

成果と課題

運動やスポーツをすることが好きと、肯定的に感じている生徒が市平均、全国平均を大きく上回っている。しかし、体力に自信があるかの問い合わせで自信がないと感じている生徒が、市平均、全国平均より非常に多くいることが課題である。

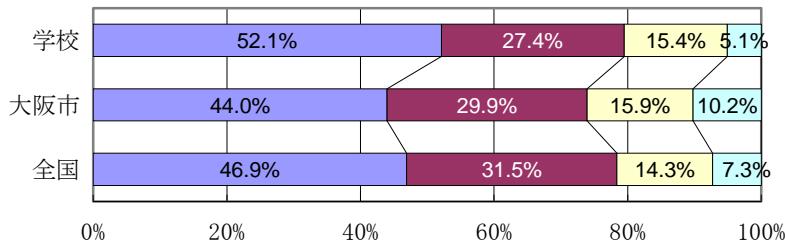
今後の取組

運動に関わる行事や体育の授業で達成感や成功体験を感じられるよう、展開を工夫し、生徒に自信を持たせる必要がある。

運動やスポーツについて（女子）

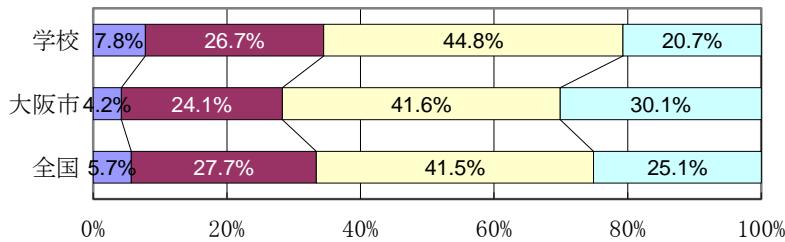
質問番号	質問事項
------	------

1 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすること好きですか



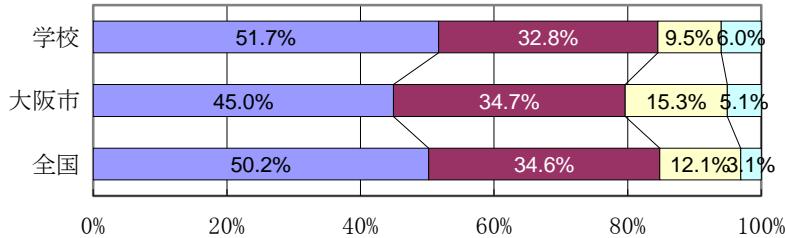
- 好き
- やや好き
- やややきらい
- きらい

2 自分の体力に自信がありますか



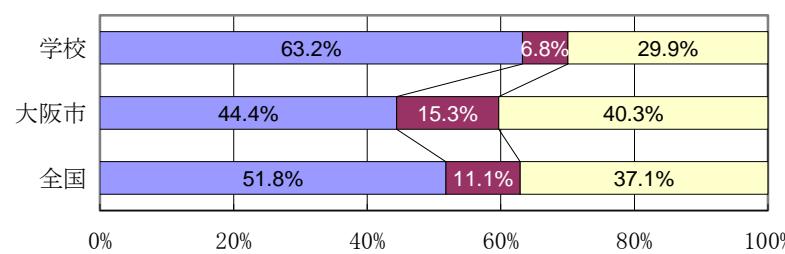
- 自信がある
- やや自信がある
- あまり自信がない
- 自信がない

3 あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



- 大切
- やや大切
- あまり大切ではない
- 大切ではない

4 中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



- 思う
- 思わない
- 分からない

成果と課題

運動やスポーツをすることが好きだと回答した生徒が男子に比べ女子が非常に少ない、スポーツに親しめる環境づくりが必要だと思われる。

また、体を動かすことが大切だと感じながらも、卒業後自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思うとの間に誤差が生じている。

今後の取組

運動の必要性は感じながら、どのように実行すればよいかの方法が分からないと感じている生徒が多数いるので、将来にわたっての運動やスポーツの行い方の提供が必要である。生涯スポーツなど調べ学習を取り入れることで、スポーツへの興味関心をより持てるようにする。

ふだんの生活について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

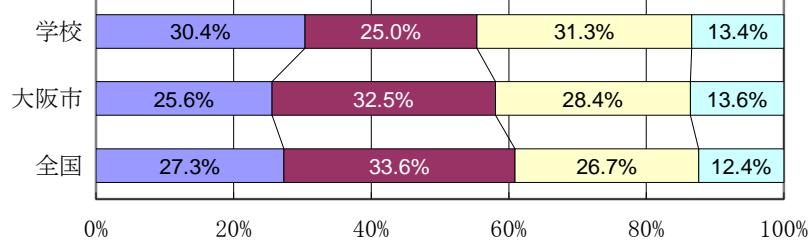
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



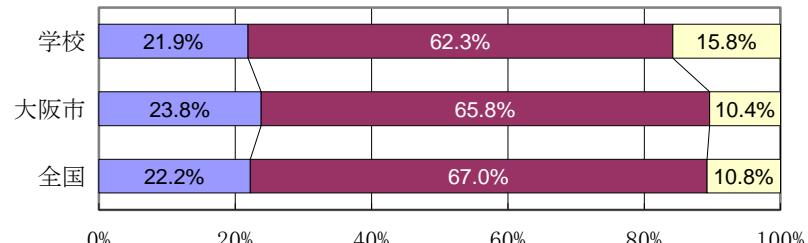
12

家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



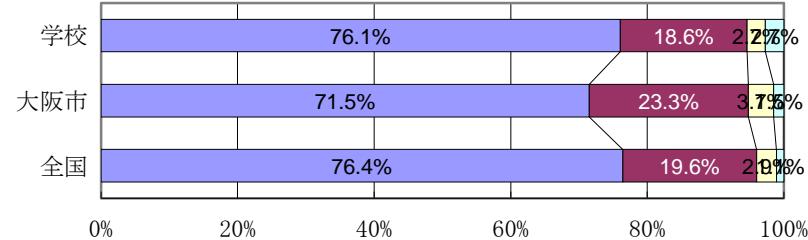
8

毎日どのくらい寝ていますか。



13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

部活動における運動部への所属が、市平均より8ポイントも高く、学校の活性化にも繋がっている。朝食を毎日食べている生徒は、市平均を0.7ポイント上回っているが、全国平均と比較して7ポイント下回っている。また、睡眠時間も、市平均、全国平均より低いことが課題である。

今後の取組

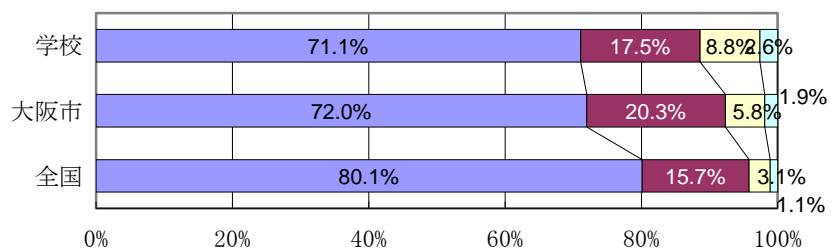
朝食についての詳しい状況調査を実施するとともに、保健の授業で食事や睡眠への知識理解を深める内容を取り入れる。

栄養教諭や養護教諭とも連携して、食事や睡眠の重要性について保護者への周知を行う。

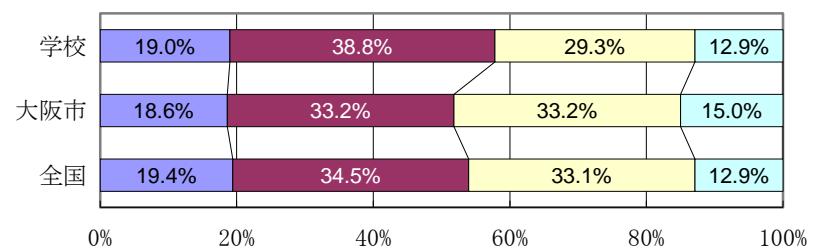
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

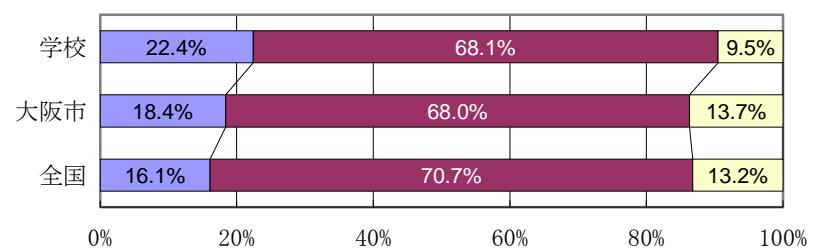
6
朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



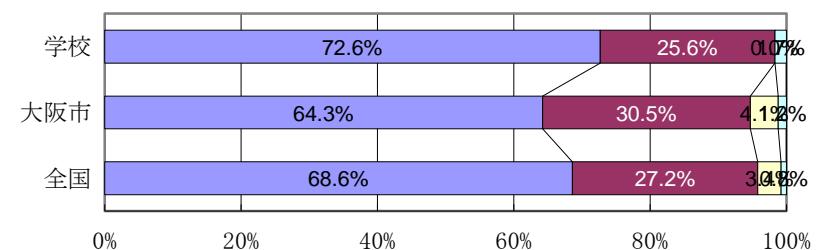
12
家人の人から運動やスポーツを積極的に行なうことを勧められることがありますか



8
毎日どのくらい寝ていますか。



13
あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

健康で過ごすための3つの柱、食事・運動・休養(睡眠)の重要性は十分に理解できているとみられる。
朝食をしっかり摂ることが大切であると、ほとんどの生徒が回答しているにも関わらず、実行できている生徒が9割にとどまっており、約1割は実行できていない。

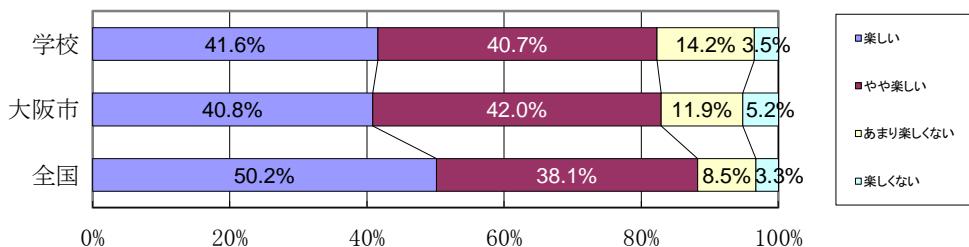
今後の取組

朝食の摂取率が全国・大阪市の平均を下回っていることから、なぜそのようになっているか実態調査の必要性を感じる。
栄養教諭とも連携を図り、毎月発行している「栄養だより」に、朝食についての内容を取りあげ関心を高めさせる。

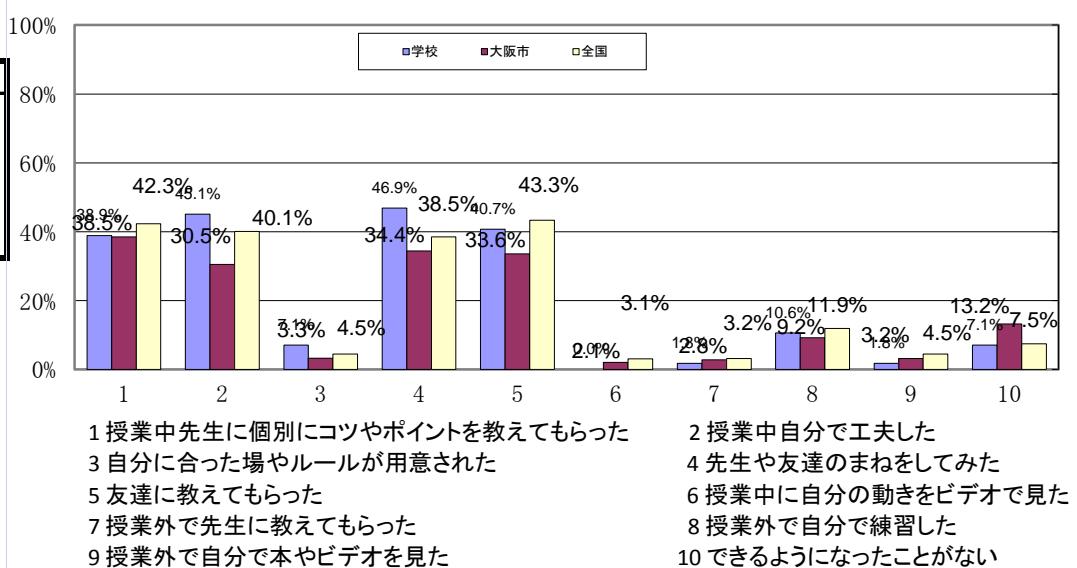
保健体育の授業について（男子）

質問番号	質問事項
------	------

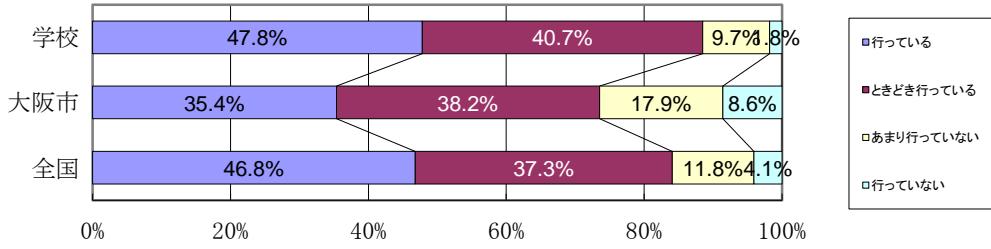
16	保健体育の授業は楽しいですか
----	----------------



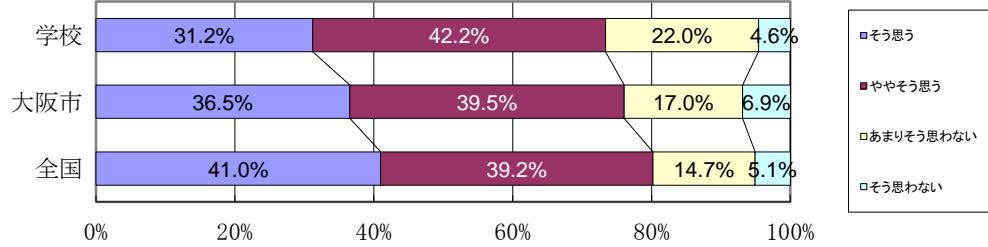
21	これまでの体育の授業で「できなかつたができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか
----	---



19	ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。
----	--



23	今、保健体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。
----	--



成果と課題

友だちと助け合う活動や話し合う活動を行っているので、肯定的な回答が市平均、全国平均を大きく上回っており、他者との関わりを多くもつことで得られた成果である。

動画を用いたフィードバック体験が不足している。

生涯スポーツの概念を持つ生徒が市平均、全国平均を下回っている。

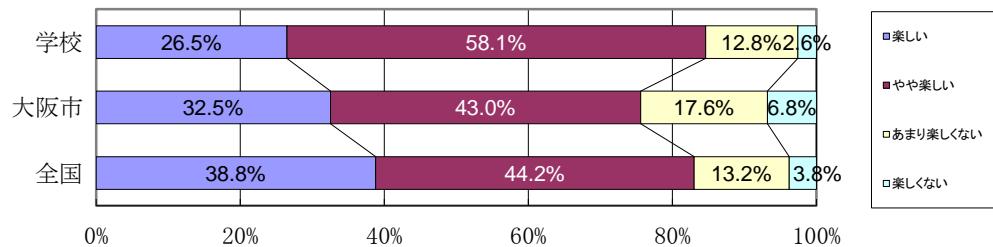
今後の取組

タブレット端末などを有効活用し、動画を用いてフィードバックすることを積極的に導入する。
中学校で学習する内容が、生涯にわたって運動・スポーツに親しむことにつながるように工夫する。

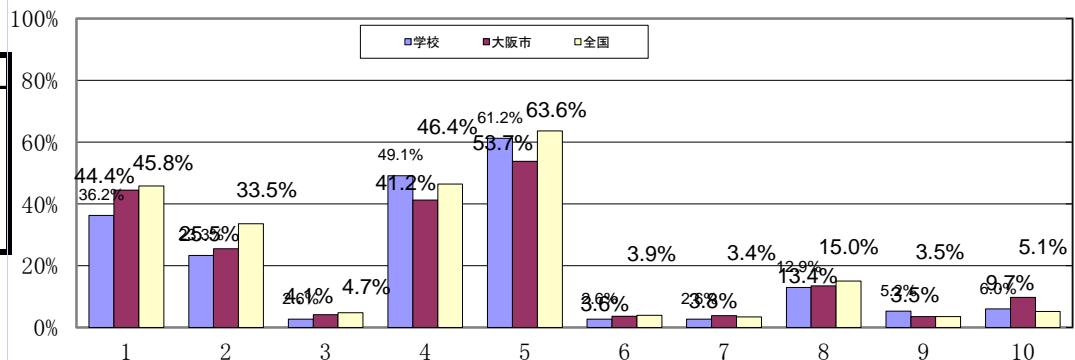
保健体育の授業について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

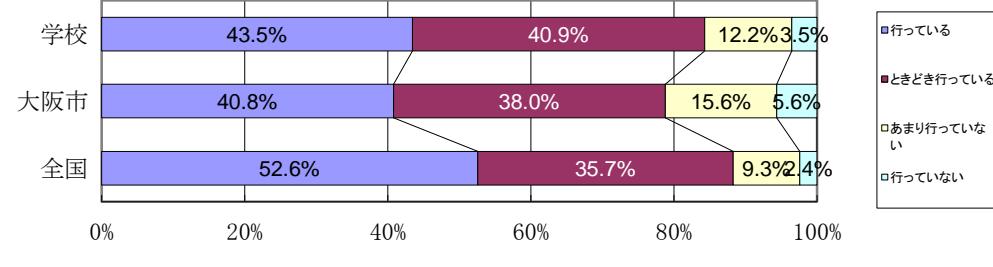
16
保健体育の授業は楽しいですか



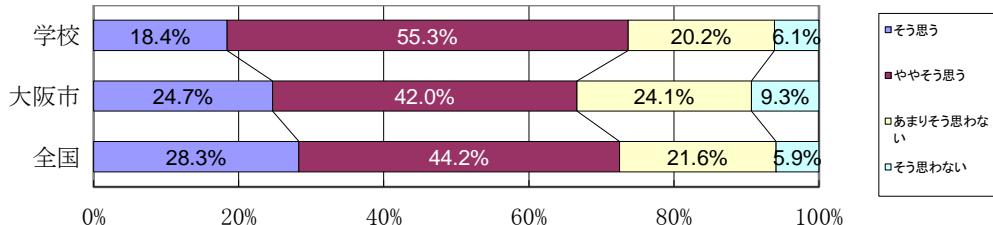
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



23
今、体育の授業で学習している内容は、あなたの将来に役に立つと思いますか。



成果と課題

保健体育の授業は楽しいですかの設問で、肯定的な回答をした生徒は全国平均とあまり差はないが、「楽しい」と回答した生徒は全国平均、大阪市平均ともに大きく下回っている。さまざまな課題に追われ、グループでの学習や生徒どうしの教え合う時間の確保がうまくとれていない結果からと考えられる。

今後の取組

アクティブラーニングを積極的に導入し、生徒たちが主体的・対話的に学習できる環境を整える。

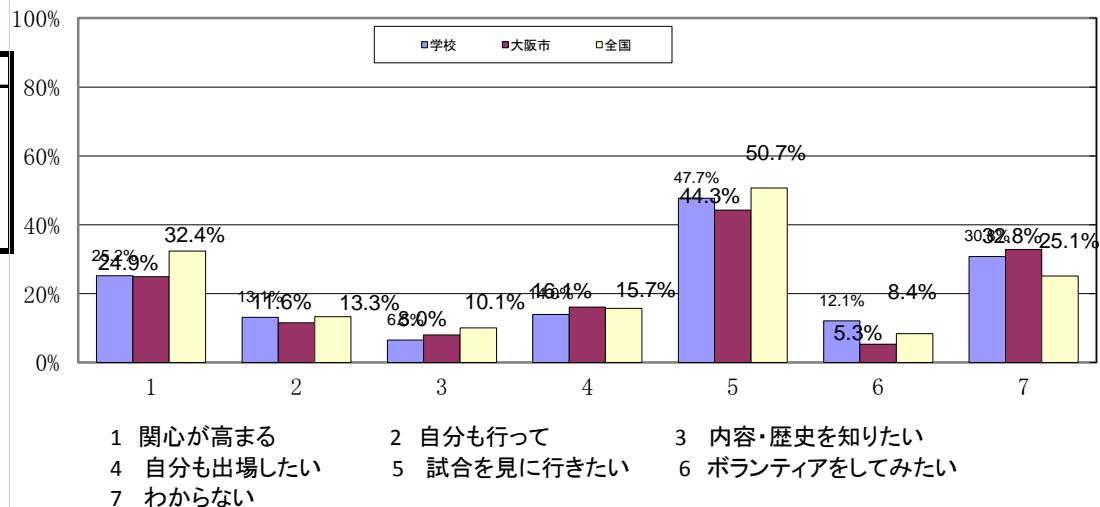
その他（男子）

質問番号

質問事項

29

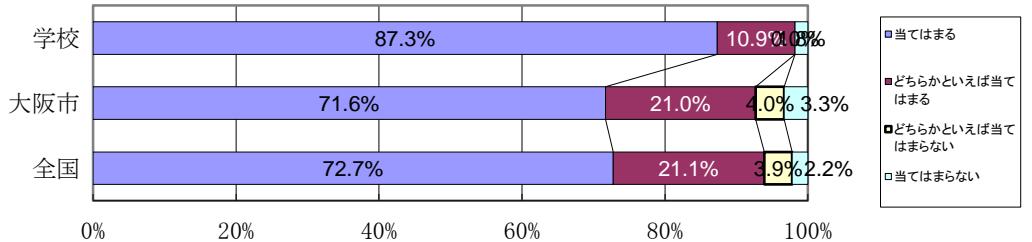
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



- 1 関心が高まる 2 自分も行って 3 内容・歴史を知りたい
 4 自分も出場したい 5 試合を見に行きたい 6 ボランティアをしてみたい
 7 わからない

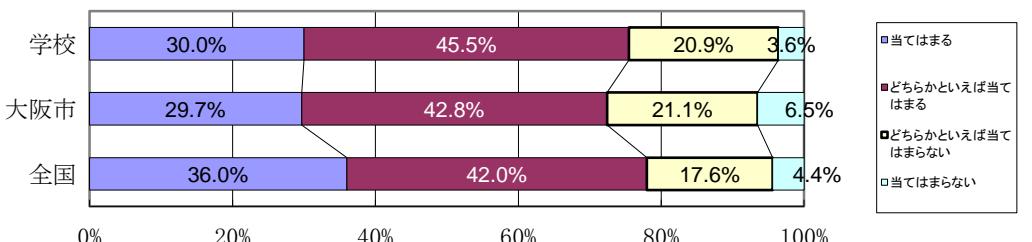
30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



31

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している



成果と課題

物事を最後までやり遂げてうれしかったことがあると回答した生徒が、大阪市平均、全国平均を大きく上回った。放課後や休日にも、積極的に運動に親しんでいる。

東京オリンピック、パラリンピックの手伝いやボランティアに対する興味関心が高い。

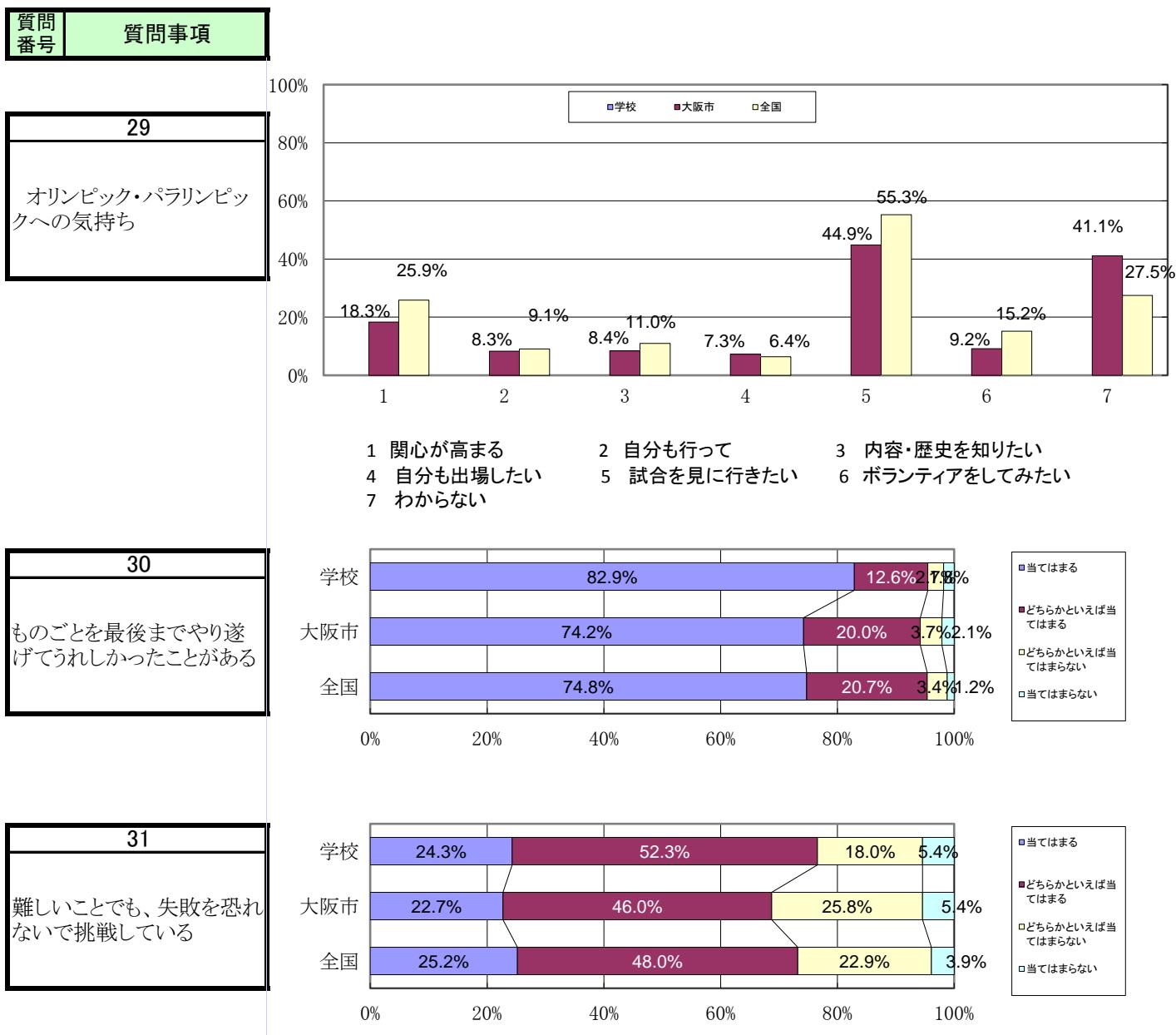
難しいことにチャレンジする点で全国平均を下回っている。

今後の取組

達成感をより実感できるような体育的行事の企画運営に取り組む。

難しいことにも積極的に挑戦する態度を育成するため、目標設定と小さな成功体験を積むことができる授業を開発する。

その他（女子）



成果と課題

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると回答した生徒が8割を超え、全国・大阪市平均を大きく上回っていた。2月に開催したマラソン大会のアンケート結果からも、多くの生徒が「しんどかったがやり遂げてよかつた」と答えており行事を通して実感している結果がみられた。

今後の取組

マラソン大会については開催時期(インフルエンザ等の流行時期)や健康面からも、開催そのものが検討されてもおかしくないが、生徒たちが得る成果も大きく、今後も継続して実施する。